



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4220 URL <https://www.rikentechnos.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員(氏名) 常盤 和明
問合せ先責任者(役職名) 経理部長(氏名) 高見 亮一 (TEL) 03-5297-1650
四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	94,271	2.2	6,516	15.6	7,022	16.1	5,569	56.4
2023年3月期第3四半期	92,246	17.7	5,638	22.8	6,048	20.7	3,560	7.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 9,817百万円(15.6%) 2023年3月期第3四半期 8,494百万円(71.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	90.12	—
2023年3月期第3四半期	56.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	114,118	71,717	54.6
2023年3月期	112,002	72,165	56.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 62,271百万円 2023年3月期 63,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	9.00	—	16.00	25.00
2024年3月期	—	12.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	17.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2024年1月31日)公表いたしました「2024年3月期 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	3.6	8,700	15.9	9,200	15.5	6,400	40.4	106.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2024年1月31日)公表いたしました「2024年3月期 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	64,113,819株	2023年3月期	64,113,819株
2024年3月期3Q	9,122,012株	2023年3月期	854,648株
2024年3月期3Q	61,796,423株	2023年3月期3Q	63,189,981株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気を押し上げてきたコロナ禍明け後の需要回復がほぼ一巡し設備投資など一部で足踏みが見られたものの、継続する雇用・所得環境の改善、個人消費や企業収益の持ち直しにより、総じて緩やかな回復の動きとなりました。

海外では、世界的な金融引き締めによる金融資本市場の変動や中国における不動産市場の停滞による中国経済減速の影響に加え中東情勢等、先行き不透明な状況が続いているものの、米国経済が底堅い雇用環境と個人消費が堅調に推移したことで、総じて持ち直しの動きとなりました。

産業別では、国内建材市場は住宅着工件数・非住宅着工件数共に前年同期比で減少し、当第2四半期連結累計期間に続き、低調な推移が見られました。グローバル自動車市場は半導体を起因とした部品供給問題等による生産制約の解消が進み、前年同期比で生産台数が増加しました。

このような環境の中、当社グループは中期経営計画「Challenge Now for Change New 2024 変革への挑戦」の2年目として、「グローバル経営の深化とシナジー」「顧客の期待の先を行く」「新規事業／新製品への挑戦」「環境／社会課題解決への貢献」の4つの戦略の具体的な取り組みを行ってまいりました。

その結果、売上高は94,271百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)2.2%増)、営業利益は6,516百万円(前年同期比15.6%増)、経常利益は7,022百万円(前年同期比16.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,569百万円(前年同期比56.4%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、各報告セグメントの名称、略称、対象とする主要な市場は、以下のとおりであります。

- ・トランスポートーション(Transportation) [TR]… 自動車、鉄道、船舶市場等
 - ・デイリーライフ&ヘルスケア(Daily Life & Healthcare) [DH]… 医療、生活資材、食品包材市場等
 - ・エレクトロニクス(Electronics) [EL]… エネルギー、情報通信、IT機器市場等
 - ・ビルディング&コンストラクション(Building & Construction) [BC]… 住宅、ビル、建築資材、土木市場等
- (注) []は、報告セグメントの略称

<トランスポートーション>

国内では、自動車市場が回復し、同市場へのエラストマーコンパウンドの販売が増加し、増収となりました。

海外では、中国市場における日系自動車の生産減少の影響がありましたが、北米・ASEAN・インド国の日系自動車の生産の回復に伴い販売が増加し、前年同期並みの売上となりました。

セグメント利益につきましては、中国の日系自動車生産低下に伴う販売の減少が影響し、減益となりました。

その結果、売上高は29,368百万円(前年同期比5.7%増)、セグメント利益は2,525百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

<デイリーライフ&ヘルスケア>

国内では、小巻ラップ製品の販売が好調に推移し、増収となりました。

海外では、タイ国及び米国での生活資材市場向け塩ビコンパウンドの販売が減少し、減収となりました。

セグメント利益につきましては、小巻ラップ製品の販売が増加したことにより、増益となりました。

その結果、売上高は26,050百万円(前年同期比1.6%増)、セグメント利益は2,128百万円(前年同期比83.9%増)となりました。

<エレクトロニクス>

国内では、工作機械電線向けコンパウンドの販売が減少したものの、半導体市場向けダイシングフィルム等の機能性フィルムの新規拡販が進み、増収となりました。

海外では、ASEANでの塩ビコンパウンドの販売が増加したものの、米国及び中国市場での塩ビコンパウンドの販売が減少し、減収となりました。

セグメント利益につきましては、機能性フィルムの拡販が進み、増益となりました。

その結果、売上高は18,628百万円(前年同期比1.2%増)、セグメント利益は952百万円(前年同期比29.2%増)となりました。

<ビルディング&コンストラクション>

国内では、非住宅市場向けフィルム及び、政府の「住宅省エネ2023キャンペーン」による樹脂サッシ用塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収となりました。

海外では、米国の建材市場向け塩ビコンパウンドの販売が減少し減収となりました。

セグメント利益につきましては、米国での販売減少の影響により、減益となりました。

その結果、売上高は20,193百万円(前年同期比0.7%減)、セグメント利益は862百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は114,118百万円(前連結会計年度末比2,116百万円増加)となりました。これは現金及び預金が減少した一方で、売掛金等の売上債権、有形固定資産、投資有価証券が増加したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は42,401百万円(前連結会計年度末比2,564百万円増加)となりました。これは主に未払法人税等、買掛金、繰延税金負債が増加したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は71,717百万円(前連結会計年度末比447百万円減少)となりました。これは利益剰余金、為替換算調整勘定が増加した一方で、自己株式の取得により減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2023年10月30日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「2024年3月期 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,481,932	19,177,053
受取手形	1,306,391	946,822
売掛金	22,180,311	25,589,546
電子記録債権	5,008,505	5,523,452
商品及び製品	9,678,717	9,677,031
仕掛品	961,462	1,034,061
原材料及び貯蔵品	8,094,251	8,386,169
その他	1,040,115	1,272,537
貸倒引当金	△83,749	△83,327
流動資産合計	71,667,937	71,523,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,464,642	11,501,780
機械装置及び運搬具（純額）	7,963,520	8,786,629
土地	6,439,554	6,547,441
リース資産（純額）	57,020	59,678
建設仮勘定	1,512,427	1,345,214
その他（純額）	640,541	750,667
有形固定資産合計	27,077,707	28,991,411
無形固定資産		
のれん	5,820	4,728
リース資産	5,173	7,652
その他	2,275,719	2,260,880
無形固定資産合計	2,286,713	2,273,261
投資その他の資産		
投資有価証券	8,777,528	9,153,753
長期貸付金	1,905	1,576
退職給付に係る資産	811,947	825,521
繰延税金資産	441,121	476,367
その他	940,216	910,472
貸倒引当金	△2,320	△36,743
投資その他の資産合計	10,970,399	11,330,947
固定資産合計	40,334,820	42,595,620
資産合計	112,002,757	114,118,968

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,193,377	21,939,915
電子記録債務	467,511	300,733
短期借入金	7,718,267	8,023,244
1年内返済予定の長期借入金	552,457	610,732
リース債務	16,456	10,587
未払法人税等	640,838	1,463,374
賞与引当金	807,030	553,227
役員賞与引当金	92,721	87,375
その他	2,387,457	3,117,000
流動負債合計	33,876,116	36,106,191
固定負債		
長期借入金	2,260,070	2,035,421
リース債務	30,639	49,540
繰延税金負債	1,877,146	2,401,409
役員株式給付引当金	200,788	235,888
退職給付に係る負債	1,157,941	1,157,307
資産除去債務	335,742	339,447
その他	99,078	76,324
固定負債合計	5,961,407	6,295,339
負債合計	39,837,524	42,401,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,514,018	8,514,018
資本剰余金	6,597,580	6,597,580
利益剰余金	41,463,280	45,224,557
自己株式	△406,095	△7,370,136
株主資本合計	56,168,784	52,966,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,904,961	5,553,507
為替換算調整勘定	2,159,985	3,780,255
退職給付に係る調整累計額	△37,713	△27,885
その他の包括利益累計額合計	7,027,233	9,305,878
非支配株主持分	8,969,215	9,445,537
純資産合計	72,165,232	71,717,436
負債純資産合計	112,002,757	114,118,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	92,246,423	94,271,596
売上原価	76,970,078	77,978,690
売上総利益	15,276,344	16,292,906
販売費及び一般管理費	9,637,386	9,776,353
営業利益	5,638,958	6,516,552
営業外収益		
受取利息	25,549	46,942
受取配当金	223,428	300,929
為替差益	195,767	203,172
その他	122,771	205,131
営業外収益合計	567,516	756,176
営業外費用		
支払利息	108,264	195,338
貸与資産減価償却費	13,059	5,980
その他	36,644	48,827
営業外費用合計	157,967	250,147
経常利益	6,048,506	7,022,581
特別利益		
固定資産売却益	937	3,181
投資有価証券売却益	8,720	1,881,569
特別利益合計	9,658	1,884,751
特別損失		
固定資産売却損	-	52
固定資産除却損	1,650	20,949
特別損失合計	1,650	21,001
税金等調整前四半期純利益	6,056,514	8,886,331
法人税等	1,563,335	2,243,136
四半期純利益	4,493,178	6,643,195
非支配株主に帰属する四半期純利益	932,745	1,074,003
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,560,432	5,569,191

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,493,178	6,643,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△305,662	654,827
為替換算調整勘定	4,301,795	2,509,724
退職給付に係る調整額	4,748	9,828
その他の包括利益合計	4,000,882	3,174,381
四半期包括利益	8,494,060	9,817,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,051,228	7,847,836
非支配株主に係る四半期包括利益	2,442,831	1,969,740

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2023年10月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式8,337,900株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が6,999,945千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が7,370,136千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

(1) 株式給付信託(BBT)

当社は、2016年6月24日開催の第87回定時株主総会決議に基づき、業務執行をする取締役(監査等委員である取締役を除く。)及び執行役員が、中長期的な業績の向上及び企業価値の増大に貢献する意識を高め、業務執行をしない取締役(監査等委員である取締役を除く。)及び監査等委員である取締役が、監督または監査を通じた中長期的な企業価値の増大に貢献することを目的として、新たな株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を2016年9月14日より導入しております。

①取引の概要

当社グループは、あらかじめ定めた役員株式給付規程に基づき、取締役等(取締役及び執行役員)に対しポイントを付与し、退任時に受益者要件を満たした者に対し、付与されたポイントに相当する当社株式を給付いたします。給付する株式については、あらかじめ当社が拠出した金銭により信託銀行が将来給付分も含めて第三者割当による自己株式を譲受し、信託財産として分別管理しております。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は前連結会計年度末270,072千円、587千株、当第3四半期連結会計期間末270,072千円、587千株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(2) 株式給付信託(従業員持株会処分型)

当社は、2021年2月22日開催の取締役会の決議により、従業員の福利厚生増進及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、「株式給付信託(従業員持株会処分型)」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

①取引の概要

本制度は、「リケンテクノス従業員投資会」(以下、「持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象に、当社株式の株価上昇メリットを還元するインセンティブ・プランです。

信託の設定後5年間にわたり持株会が取得する見込みの当社の当社株式を、本制度の受託者である信託銀行が予め一括して取得し、持株会の株式取得に際して当社株式を売却していきます。信託終了時まで、信託銀行が持株会への売却を通じて本信託の信託財産内に株式売却益相当額が累積した場合には、それを残余財産として受益者適格要件を充足する当社従業員持株会会員に分配します。また当社は、信託銀行が当社株式を取得するための借入に対し保証をしているため、信託終了時において、当社株価の下落により当該株式売却損相当の借入残債がある場合には、保証契約に基づき当社が当該残債を弁済することとなります。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は前連結会計年度末135,858千円、266千株、当第3四半期連結会計期間末99,649千円、195千株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

当第3四半期連結会計期間末101,281千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	TR	DH	EL	BC	計				
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	27,789,991	25,643,058	18,409,735	20,341,511	92,184,296	62,127	92,246,423	—	92,246,423
外部顧客への 売上高	27,789,991	25,643,058	18,409,735	20,341,511	92,184,296	62,127	92,246,423	—	92,246,423
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	259,149	259,149	△259,149	—
計	27,789,991	25,643,058	18,409,735	20,341,511	92,184,296	321,276	92,505,573	△259,149	92,246,423
セグメント利益	2,661,867	1,157,224	736,698	990,686	5,546,477	30,300	5,576,778	62,180	5,638,958

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原材料の仕入・販売等でありま

す。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去62,180千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	TR	DH	EL	BC	計				
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	29,368,862	26,050,917	18,628,340	20,193,151	94,241,272	30,324	94,271,596	—	94,271,596
外部顧客への 売上高	29,368,862	26,050,917	18,628,340	20,193,151	94,241,272	30,324	94,271,596	—	94,271,596
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	846,150	846,150	△846,150	—
計	29,368,862	26,050,917	18,628,340	20,193,151	94,241,272	876,475	95,117,747	△846,150	94,271,596
セグメント利益	2,525,827	2,128,234	952,036	862,871	6,468,970	53,687	6,522,658	△6,105	6,516,552

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原材料の仕入・販売等でありま

す。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△6,105千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2024年1月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議しました。

(1) 自己株式の消却を行う理由

株主還元の充実を図るとともに、資本効率の向上を図るため。

(2) 自己株式の消却の内容

- | | |
|---------------|--|
| ① 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 消却する株式の総数 | 8,338,712株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 13.01%) |
| ③ 消却予定日 | 2024年2月9日 |
| ④ 消却後の発行済株式総数 | 55,775,107株 |